

故・小泉秀雄先生の野帳(16)

横内 文人*

The field books of the late Mr.Hideo Koidzumi(16)

Fumito Yokouchi

No 32 1925 年度(大正 14 年度) 続き

⑥牧内君採集、南アルプス寒地植物

荒川岳の頂上第2カール中の側口、産地多少?あり。

ニッコウヒョウタンボク、ケヤマハンノキ(大小寺平の小屋の上、大形、多毛)、オオバアサガラ(高山滝の側、恵那山)、ピランジ(高山の滝)、シコタンハコベ(東岳)、ミヤマアケボノソウ(小屋より下方)、ムシトリスミレ(小屋付近)、コウメバチソウ(荒川岳頂上)、ミズメ(加々森)、イボタヒョウタンボク、オノエヒゴタイ(上河内岳)、ミヤマヒゴタイ(〃)、ホザキイチヨウラン(池口の肩)、ピロードラン(聖岳)、ヤマウツボ、キソチドリ(聖)、ミヤマモミジイチゴ(加々森)、シナノキイチゴ(加々森)、ザリコミ(〃)、イワキンバイ(聖の下)、サラサドウダン(光)、ヒメミヤマナデシコ(光岳)、ヤマオダマキ(聖岳)、クリンユキフデ(加々森)、オオピランジ(聖)、ミヤマホタルブクロ(〃)、ミヤマコウボウ(〃)、シロウマスゲ(〃)、イワスゲ(〃)、ヒメコゴメグサ(〃)、イトキンスゲ(聖)、ミヤマガラシ(〃)、シロウマアカバナ(〃)、タカネヒゴタイ(上河内)、クロマメノキ(光)、キブネギク(池口の下方)、ヒロハヤマハハコ(上河内)、チョウジコメツツジ(光岳)、ミヤマオダマキ(〃)。

6月5日。宮田から赤穂間。

①宮田より、チダケサシ、ナガハグサ、ニガナ、スズメノチャヒキ、カモジグサ、キツネノボタン、イタドリ、ウツボグサ、ネコヤナギ、イヌコリヤナギ、カワラマツバ、タンポポ(小野小学校)、キリンソウ、キバナノカワラマツバ、オウレンシダ、タカトウダイ、コンギク、スイカズラ、エゴノキ、ノブドウ、ナライシダ、ヘビノネゴザ、ホウキギ、クヌギ、ヤマノイモ、アオツヅラフジ、タニセリモドキ、イボタノキ、トコロ、キヌタソウ、ノミノツツリ、シモ

ツケ、タガネソウ、オニツツジ、オカトラノオ、ススキ、ヨモギ、ヤマハッカ、コアジサイ、キンボウゲ、ヤマウルシ、キンミズヒキ、バッコヤナギ、クサフジ、キジムシロ、ヤシャゼンマイ、カニツリグサ、リュウノウギク、ニシキソウ、イヌヨモギ、ナワシロイチゴ、タチクラマゴケ、ヤクシソウ、コブナグサ、トラノオシダ、アキノキリンソウ、ミミナグサ、ボタンヅル、ツメクサ、ホソイチゴツナギ、オオイヌタデ、ニワヤナギ、ハギ、ヌカボ、タチツボスミレ、オトギリソウ、フシグロ、スズメノヒエ、コマツナギ、メドハギ、コブシ、イヌタデ、チガヤ、タチフウロ、ジシバリ、ヤハズグサ、エノキ。

◎アベマキは南向村上片口にありと。

◎オオシャクナゲ(鉢盛山にあり)。

これより向原の方に向く。ヤマニガナ、カラマツ、ミズタマソウ、シロバナイチヤクソウ、コバノツルマサキ、ヌスビトハギ、アカネ、ナワシロイチゴ、サイカチバラ、ショリマ、ヒトリシズカ(輪生)、ノウルシ、カラマツソウ、サンショウ、ヤブラン、アケビ、アキノウナギヅカミ、シオデ、サオトメカズラ、コバノガマズミ、シラヤマギク、ケヤマザクラ、シュロソウ、フジ、ヤワラシダ、オケラ、コアジサイ、ノアザミ、ヤマノイモ、タガネソウ、イヌヨモギ、クマイチゴ、オオヤマフスマ、ヤマハタザオ、カタバミ、ボタンヅル、ヒメー、ヤマカモジグサ、エゾエノキ、ナギナタガヤ、エノキ、オトコエシ、オオバメドハギ、カワラヨモギ、イヌハギ、ネジバナ、ヌルデ、ツユクサ、ヤブスゲ、キバナヤマオダマキ、ヤマハッカ、チチコグサ、カナビキソウ、ヤマナラシ、ミツバツチグリ、エノキグサ、チャンパギク、カモガヤ、ネズミサシ、コウゾリナ、イヌザンショウ、カワラナデシコ、ヒメムカシヨモギ、ムシャリンドウ、テリハノイバラ、ニワホコリ、ハタザオ、タチイヌノフグリ、カセンソウ、タカサゴソウ、バイカウツギ、カワラハハコ。

河原に出ず。シロネジバナ、ツメレンゲ、オキナ

* 横内 文人 〒399-7402 長野県松本市会田110

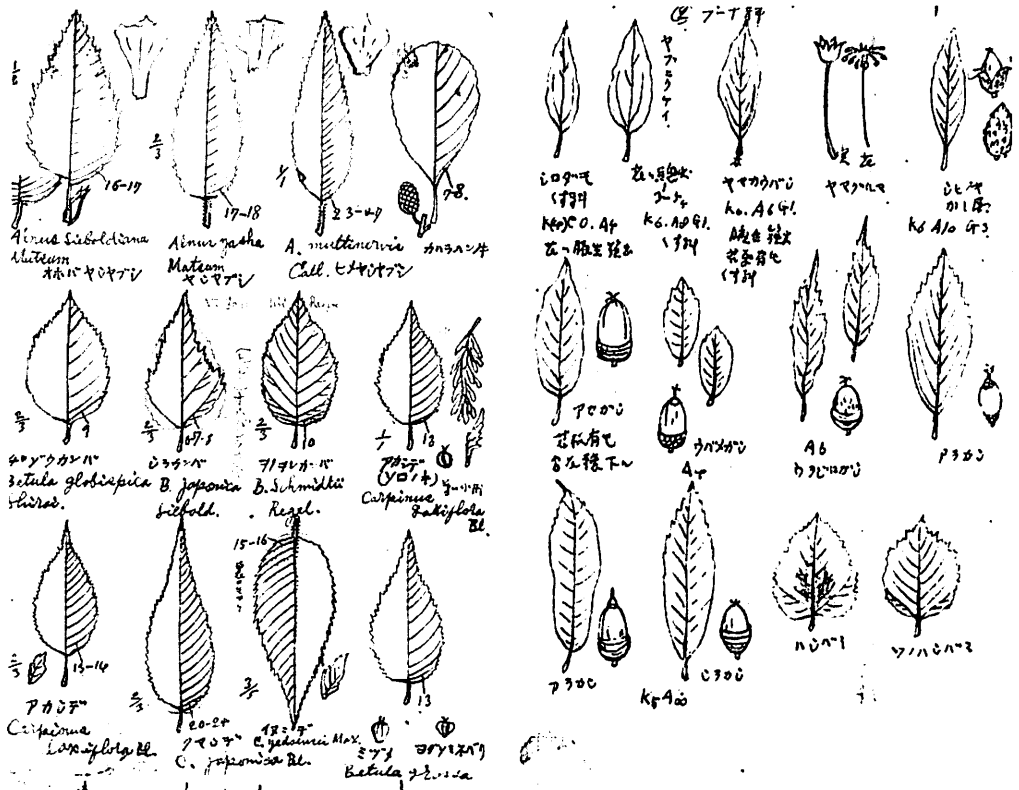


図1 野帳のイラスト (× 3/4)

グサ、カワライチゴツナギ、カワラサイコ、スミレ、ホソバニガナ、フシグロ、ナルコスゲ、ネコヤナギ、コマツナギ、ホッスガヤ、クサボケ、クリンソウ、ネコハギ（城下にもあり）、チチコグサ、クサイ、ヒロハノカモメヅル。

下平の分教場（中食）。オオドジョウツナギ、テンツキのー、ショリマ、ヨツバムグラ、ヒエガエリ、イヌワラビ、ヨツバムグラ、チゴザサ、イボクサ、クルマバナ、クサノオウ、トキンソウ、コケオトギリ、ヒメナミキソウ、オウレンシダ、シケシダ、コナラ、ヤマボクチ、オドリコソウ、ヤマニガナ、カナムグラ、ハギ、イブキボウフウ、ママコナ、ヤワラシダ、ノキシノブ、イワデンダ、アブラシバ、センノキ、ムラサキシキブ、イヌガンソク、ゴウソ、ヤマカモジグサ、オオノアザミ、タツナミソウ、ヤブジラミ、タラノキ、ケヤキ、タニスゲ、ダケゼリ、ヤマジノホトトギス、エビラハギ、ヨツバムグラ、ヤマハタザオ、カスマグサ、ノボロギク、タンポポ、キバナヤマオダマキ、ヒヨドリバナ、イタチササゲ、ソヨゴ、ノブドウ、アズキナシ、ケヤマザクラ、ヒノキ、ウラジロノキ、アカシデ、アキノキリンソウ、ナツハゼ、アオハダ、トダシバ、キバナノカワラマツバ、チガヤ、シロヤナギ、チダケサシ、ハンノキ、サイカチ、ヤマブキ、ノビル、クロウメモドキ、クモキリソウ、トリアシシヨウマ、オヤマボクチ、ヤマウ

コギ、ネザサ、ノダケ、ネコヤナギ、ヤナギタンポポ、オケラ、イヌヨモギ、ヤマナラシ、ニガキ、エゴノキ、バイカツツジ、ウメモドキ、シナノザクラ？（赤穂村小町屋□病院の表）。

赤穂停留場前。オナモミ、ハルノノゲシ、イヌガラシ、ニワホコリ、イヌビユ、ノボロギク。

木曾駒ヶ岳 赤穂町より頂上まで5里7町、海拔9756尺。

7月10日 松本発一大町對山館泊。

(V) 7月11日 大町発一濁小屋泊。

①大町一笹平間電車。ケヤマザクラ、イブキジャコウソウ、ホタルブクロ、ヤマヨモギ、トシマガヤ（ホッスガヤのform.）、ヨシ、ウツボグサ、ノアザミ、シロバナニガナ。

笹平一葛温泉間。ヤマアザミ、ヤマヨモギ、フキ、タラノキ、ウツボグサ、ヌカボ、オオノアザミ、ヤマニガナ、ヤクシソウ、スギナ、ヤマハタザオ、ヌルデ、ノブドウ、クマイチゴ、ワラビ、ミズナラ、イタヤ、クサギ、ツルウメモドキ、アカソ、オオバコ、フジウツギ、ハクウンボク、イヌシダ、ツリバナ、トラノオ、ノイバラ、コンギク、ボタンヅル、フサザクラ、ムラサキシキブ、ミヤマナルコユリ、ダンコウバイ、ウド、サワヒヨドリ、キイチゴ、ヤマブキ、サワアジサイ、ニガイチゴ、ヘビノネゴザ、ヤ

シャブシ、ウラジロイチゴ、ヤマブキショウマ、イワデンダ、ナガバヤナギ、オオバセンキュウ、ナベナ、サワグルミ、キツリフネ、トチノキ、クマヤナギ、ミヤマイボタ、ニワトコ？、ソバカズラ、ヒメムカシヨモギ、クルマムグラ、ミツモトソウ、ヨツバヒヨドリ、ミツバヒヨドリ、ヤハズグサ、リョウブ、ミヤマママコナ、タチホノマルバカエデ。

△ サブサ河。サブサ横手、サブサの滝との間。第1 20間。第2 30間。第3滝 20間。サブサ川にかかる。ユズリハ、ハウチワカエデ、ミヤマママコナ、ノリノキ、ハクウンボク、タラノキ、リョウブ、マンサク、オオカメノキ、クマシデ、イワガラミ、クサイ、コバノトネリコ、ミヤマイラクサ、アサノハカエデ、シロツメクサ、ゲンノショウコ、ヤマニガナ。

岩小屋（花崗岩の大岩）。10間にてさしかかる。野営地はなし。アカザ、ナベナ、ヨモギ、ミヤマイラクサ、ヤブジラミ、オオバニワトコ、オニグルミ、イラクサ、ミヤマザサ、ヤマハタザオ、カナムグラ、カラハナソウ、ミズヒキ、ミズキ、ミズナラ、ヤマニガナ。

葛温泉より。ウリハダカエデ、イタヤカエデ、xイタヤカエデ、ネジキ、クガイソウ、ホタルブクロ。

七倉沢。マツサ。獅子の口（岩石 尚出ず）。

△山の神（のどの絶景あり）。オオシャクナゲ、コシアブラ、クロソヨゴ、ブナノキ、ツガ、ツリバナ、ハクウンボク、ヤマウルシ、ミズナラ、ウド、ナナカマド、ヒカゲツツジ、イワカガミ、フサザクラ、サイハダカンバ。

濁小屋（1200 m河崖地）付近。トゲナシゴヨウイチゴ、カツラ（木曽カツラ？）、フキ、ウド、クルマムグラ、ヤマハタザオ、アサノハカエデ、ノリノキ、ナガジラミ、シシウド（ミヤマ？）、ミヤマイラクサ、ウマノミツバ、オオバセンキュウ、イケマ、オトコエシ、クマワラビ、オオイタドリ、ノボロギク、アカザ、ヒメムカシヨモギ、カニコウモリ、ツノハシバミ、イタヤ、ミズナラ、クルマムグラ。

12日。クルマバナ、ホソエウリハダ、ナナカマド（6対）、オオバセンキュウ、ミヤマニガウリ、オオバコ、ノボロギク、ヤシャブシ、ヤマアザミ、ヒメスゲ、カヤノキ、センノキ、ミズナラ、ノリノキ、フジキ、ハシバミ、イタヤ、ガガイモ、スノキ、ナガバヤナギ、コミネカエデ、タニウツギ、コバノトネリコ、ツルウメモドキ、ノリノキ、バイカウツギ、アズキナシ、ウド、コウゾリナ、ノボロギク、ミヤマハタザオ、コンギク、ニガイチゴ、シナノキ、ヤ

マブドウ、クガイソウ、トリアシショウマ、ミヤマザクラ、ヤマブキショウマ、ソウシカンバ、ヤマハンノキ、ホタルブクロ、ヒノキ、トボシガラ、バッコヤナギ、カラマツ、ハウチワカエデ、イタドリ、アキカラマツ、タラノキ、ウラジロアザミ、シロバナシャクナゲ、ヤブデマリ、リョウブ、ヤマツツジ？、シラネワラビ、クロモジ、ヤマスズメノヒエ、アキノキリンソウ、ツタウルシ、カニコウモリ、クマイチゴ、ミヤマワラビ、イワガラミ、ミヤコザサ、ニワトコ、ダケモミ、ナツユキソウ、ズダヤクシュ、タチツボスミレ、ウマノミツバ、コメツガ、サワダツ、サワアジサイ、アカソ、ヤグルマソウ、イタヤメイゲツ、フキ、シノブカグマ、クサボタン、ニシキウツギ、チョウセンゴヨウ、ハシバミ、ナズナ、オオウバユリ、シロバナヘビイチゴ、オオカサモチ、ヒキオコシ、ミヤマニガウリ、オオダイコンソウ、クルマバソウ、トリアシショウマ、タニソバ、ヤマニガナ、クロベ、タケシマラン、イヌコリヤナギ、カワラハハコ、ヤハズハンノキ、エゾオオバセンキュウ（夕張岳のと同じ、エゾノヨロイグサならん）、オオバヤシャブシ。

7月12日（日）。滞在（降雨のため）。

7月13日（月）。濁り小屋出発、烏帽子岳登山。前8時発。エゾノヨロイグサ（5, 6尺。花は小形で、K 5、C 5—同大の弁）、ヒヨドリバナ、ツバメオモト、オトギリ、ノリノキ、ミズナラ、ヘビノネゴザ、オオカメノキ、シノブカグマ、コミネカエデ、ナナカマド、アキノキリンソウ、アカシデ、ススキ、コバノトネリコ、ヤシャブシ、コシアブラ、サイハダカンバ、イタドリ、ヤマハハコ、ネコシデ、ミヤマナルコスゲ、ナガバヤナギ、キイチゴ、アサダ、ニガイチゴ、ミヤマワラビ、オオバヤシャブシ、トシマガヤ、カワラハハコ、イヌコリヤナギ。

△河原（濁川）に出ず。シナノキ、ホソエウリハダ、バッコヤナギ、ダケモミ、ニシキウツギ、バイカウツギ、ケヤマハンノキ、オオバヤナギ、イワオウギ、コウゾリナ、ボタンヅル、イワガラミ、オミナエシ、ベニバナイチヤクソウ、キバナノヤマオダマキ、ヤグルマソウ、オオカサモチ。

△河を離れ、登りにかかる。マサキ、メンマ、ボタンヅル、ルイヨウショウマ、オオダイコンソウ、ニシキウツギ、アカソ、オオイタドリ、オオウバユリ、エゾノヨロイグサ、テンニンソウ、サワギク、クガイソウ、ミヤマカラマツ、ウド、シモツケソウ、ヤマハタザオ、クジャクシダ、ナルコユリ、イノデ、オオバショリマ、ウラジロアザミ、ミヤマ

ボタ、ツリバナ、アマドコロ、ウワミズザクラ、オオカサモチ、ナツユキソウ、フキ、クマイチゴ、ミツバヒヨドリ、カツラ、ミズナラ、サワグルミ、ヨツバヒヨドリ、アカネ、シノブイノデ、トチバナニンジン、ノブキ、マユミ、サンカヨウ、キレバサンカヨウ、ウマノミツバ、イタヤ、ミズヒキ、クルマバソウ、タチツボスミレ、ミヤマイボタ、マイヅルソウ、クルマバツクバネソウ、カニコウモリ、タケシマラン、イワガラミ、アマチャヅル、ミヤマニガウリ、ハウチワカエデ、ノリノキ、ツバメオモト、タマガワホトトギス、ヒョウタンボク、イヌブナ、オオバナヨツバムグラ、トラノオシダ、ヒメカンスゲ、ヌカボシソウ、クロモジ、オサシダ、アクシバ、ナナカマド、(ナンタイシダ?、ナライシダ?)、ブナ、オオイタヤメイゲツ(メイゲツに似て毛なし)、イヌガンソク、フクオウソウ、フサザクラ、オオカメノキ、(シラネアオイ?、やや深く裂く)、ミヤマガマズミ、ヤマソテツ、ホソバトウゲシバ、イワナシ、ギンリョウソウ。

△この辺、ブナ帯(濁りの掬立ちという)にして他所とあまり変わらず。ツタウルシ、ミヤマワラビ、マルバカエデ。

対岸に細長なる瀑布あり。ヤマウルシ、ツクバネソウ、ミヤマアオスゲ、ヒメイチゲ、コマユミ、タマガワホトトギス、サワダツ、エゾノヨツバムグラ、ウラジロアザミ、テンニンソウ、アカソ、ヤマボクチ、センノキ、ダケカンバ、エンレイソウ、ハナヒリノキ、ミネカエデ、シノブカグマ、カツラ、オヤマボクチ、センジュガンピ、クルマバソウ、イタドリ、コメツガ、ズダヤクシュ、オガラバナ、(ミヤマシケシダ?、キヨタキシダ?)。

△針葉樹帯に入る(1500?)。コメツガ多し、ヤグルマソウ、ミヤマワラビ、ツバメオモト、オオカメノキ、カニコウモリ、ナナカマド、マイヅルソウ、タケシマラン、ホソバトウゲシバ、ソバナ、ヤマソテツ、イワカガミ、オガラバナ、ミネカエデ、ゴゼンタチバナ、クロソヨゴ、コウヤノマンネンズギ、シノブカグマ、ウラジロカンバ、ダケカンバ、コシアブラ、ツルツゲ。

タカネザクラの一形(葉柄有毛、蕾みは1~2対、葉軟)、コヨウラクツツジ、イノデ、ヤハズハンノキ、シロバナシャクナゲ、タケシマラン、イワノガリヤス、ヒロハノツリバナ、イワカガミ、カラマツ、ホザキカエデ、ナナカマド、カツラ、ヤマブキショウマ、カニコウモリ、ミヤマハンノキ、ダケカンバ、ネコ

シデ、ハクサンオミナエシ。

△点下に中食す(1400 m)。キソチドリ、トウヒがやや多く交じる。コメツガ、ネコシデ、ツバメオモト、オガラバナ、ショクダイゴケ、スノキ、ミヤマメシダ、ツルリンドウ、タカネザクラ、タカネ?スギカズラ、ミヤマハンノキ、クロウスゴ、ミネカエデ、ダケカンバ、カツラ(ヒロハ?)、トウヒ(花紅紫色多し)、カラマツ(大木)、シロバナイワカガミ、アオモリトドマツ(やや多し)、ウラジロナナカマド、スノキ、コヨウラクツツジ、イワナシ。

△三角点(2200 m)。タカネナナカマド、オオバタケシマラン、ベニバナイチゴ、ミヤマハンノキ、ミヤマヤナギ、ダケカンバ、ヒロハヤマハハコ、クロウスゴ、タカネナナカマド、ミネカエデ、ウラジロカンバ、ムラサキヤシオツツジ、オオカメノキ、スノキ、ミネカエデ、イワカガミ、マイヅルソウ、ゴゼンタチバナ、タケシマラン。

△この辺、残雪やや遅くまで残るにより関係的灌木帯を現出せり。コヨウラクツツジ、ネコシデ。

△午後2時、燕岳の方角に当たり、大岩崩れあり。段々に轟く。□□□山谷□?、振動す。2, 3分続く。ホシガラス、コマドリ来る。イワナシ、シラタマノキ、ヒメイチゲ、ミツバオウレン、ムラサキヤシオツツジ、ゴヨウイチゴ、タケシマラン、ヤマブキショウマ。

△この辺、アオモリトドマツ帯なり。ヒロハヤマハハコ、ウラジロナナカマド、ヤグルマソウ、フタバラン、ゴヨウイチゴ、エゾノショウジョウバカマ、ヒメタケシマラン、エンレイソウ、ミヤマワラビ、クロツリバナ、ツルリンドウ、クロウスゴ、タカネザクラ(少しく毛あり、葉は小さく、花は1~2個)。

△岳樺帯に入る。ダケカンバ、エンレイソウ、カニコウモリ、ヒメタケシマラン、ヒメイチゲ、イワナシ、シラタマノキ、ミヤマメシダ、ベニバナイチゴ、オオヒョウタンボク、シラネワラビ、コバイケイソウ、ウラジロナナカマド、シロバナシャクナゲ、エゾノショウジョウバカマ、ベニショウジョウバカマ、イワカガミ、クロウスゴ、ミヤマクロボシソウ、ハイマツ、オヤマリンドウ、ミツバオウレン、アキノキリンソウ、オオバショリマ、xタカネザクラ、トゲブキ、ゴヨウイチゴ、クルマユリ、オオバショリマ、クロクモソウ、エンレイソウ、タカネザクラ、アオノツガザクラ、エゾノショウジョウバカマ。

尾根頂上着。4:37 トウヒを混ず。シラベ(?)かアオモリトドマツ(?)の小林あり。

△林下には、アオジクスノキ、イワカガミ、ヒメタケシマラン、アキノキリンソウ、マイヅルソウ、

カブトゴケ、オオバユキザサ、オオヒョウタンボク、ミネカエデ。

7月14日。烏帽子の小屋出発。

△朝は水（浅き所にて）氷りて薄氷を見る。小屋付近一帯に氷の如き霜を見る、寒し。

△小屋付近には、シナノキンバイ、ミヤマキンバイ、ウラジロナナカマド、ハイマツ、ミヤマハンノキ、ムカゴトラノオ、アキノキリンソウ、コケモモ、ツマトリソウ、ヒメイチゲ、ガンコウラン、エゾノショウジョウバカマ、タカネヒカゲノカズラ、ミヤマネズ。

7月15日（7時半発）。（双六池付近）スゴロクザクラ（*Prunus Sugorokuensis*、タカネザクラより半開きより少しく開き、花は薄紅色一紅色、花に小花軸なし、花は1～3こ、タカネカスミザクラ、タカネアケボノザクラ）、キヌガサソウ、オオヒョウタンボク、ミヤマキンバイ、シナノキンバイ、ミヤマキンボウゲ、エゾノショウジョウバカマ、サンカヨウ、コバイケイソウ、ウラジロナナカマド。

7月16日。双六池発。檜に向かう。樫沢岳…タカネザクラ（2カ所にとる）、西鎌尾根にて。

クモナズナ、ミヤマシオガマ、イワヒゲ、ミヤマクワガタ、ミヤマコウボウ、キバナシャクナゲ。

樫沢のお花畑。ハンゴンソウ、ミヤマキンボウゲ、ヒトツバヨモギ、ミヤマカラマツ、ウラジロアザミ、ベニバナイチゴ、タカネイタドリ、ウラジロイタドリ、バイケイソウ、シナノキンバイ、シラネアザミ、セイキ、オオバキスミレ、ミヤマトリカブト、ナツユキソウ、オオバショリマ、オオバタケシマラン、ヒメアザミ？、タカネザクラ、キヌガサソウ、クロウスゴ。

檜沢小屋（馬場平）付近。ヘビノネゴザ、セイキ、オオカサモチ、カラマツソウ、ヤマヨモギ、マイヅルソウ、ミネカエデ、ナナカマド、オオバタケシマラン、オオバユキザサ、ミヤマヤナギ、ウラジロナナカマド、ヌカボシソウ、エンレイソウ、ミヤマハンノキ、ヤマハンノキ、クロツリバナ、ミヤマホツツジ、ルイヨウショウマ、オオバショリマ、ミヤマメシダ（タケワラビ）、コバイケイソウ、アキノキリンソウ、ヒメアザミ（？）、ウラジロアザミ、シラネアザミ、タカネザクラ、ショウジョウスゲ、ミヤマアオスゲ、タカネスイバ、ヤマシラネアザミ、オオカメノキ、ヨブスマソウ、コウモリソウ、カニコウモリ、シラネワラビ、エゾノヨツバムグラ、オオバノヨツバムグラ、ツマトリソウ、イタドリ、シ

オガマギク、サンカヨウ、オオバキスミレ、オオイタドリ、クロウスゴ、ミヤマキンボウゲ、ミヤマカンスゲ、ミヤマドジョウツナギ、ミヤマトリカブト、クロツリバナ、タカネナナカマド、キジムシロ、クルマユリ、キバナノコマノツメ、イワカガミ、ミヤマワラビ、スノキ、クロクモソウ、タケシマラン、コマガタケスグリ（オオバスグリ）、ミヤマカラマツ、ハンゴンソウ、ホザキカエデ、モミジカラマツ、シナノキンバイ、カニコウモリ、ナツユキソウ、ヨブスマソウ、キレバサンカヨウ。

◎大正10年9月16日に初霜あり。平均25日頃なり。

◎紅葉は10月頃、所により遅い。他山沢も遅い。9月25日の天上沢は遅し。

△檜沢の続き。イブキヌカボ、ウスゲウラジロアザミ、ソバナ、コバノトネリコ、ウワミズザクラ、クロツリバナ、ヒロハノツリバナ、フキ、ヒロハカタツラ、ダケカンバ、ミヤマオドリコソウ、オガラバナ、ヤマヨモギ、ツリガネニンジン、ナツユキソウ、イタドリ、ヤグルマソウ、キレハサンカヨウ、キツリフネ、（ウスゲ）ウラジロタデ（大形で毛薄し）、ウマノミツバ、クルマムグラ、オオカサモチ、ミヤマトリカブト、ハンゴンソウ、オオバショリマ、ダイコンソウ、ミヤマドジョウツナギ、ヤナギラン、オオバタネツケバナ、ヒロハノツリバナ、オオカメノキ。

上高地（牧場）。ヤマカモジグサ、サワギク、ズダヤクシュ、オオバコ、タケシマラン、マルバノチョウリョウソウ、マイヅルソウ、マユミ、ミヤマイボタ、シロバナクワガタ、キンミズヒキ、タカネザクラ、ケタカネザクラ、ノブキ、フッキソウ、ニワトコ、ウラジロモミ、テングクワガタ（花は白色）、クリンユキフデ、シラネワラビ、ダイコンソウ、メンマ、ザリコミ、イワセントウソウ、クルマバツクバネソウ、ナガジラミ、ミヤマカタバミ、コミヤマカタバミ、ウワミズザクラ、ルイヨウボタン、イラクサ、ニガイイチゴ、ウマノミツバ、オオバセンキュウ、ハンゴンソウ、シウリザクラ、ミヤマトウバナ、トボシガラ、ミヤマザクラ、ウツボグサ、ヤマハンノキ、トカチヤナギ（オオバヤナギ）、カラマツソウ、コリンゴ、ミヤマカラマツ、タカネスイバ、ヤマハタザオ、ホソバトリカブト、タガソデソウ、ゲンナイフウロ、シロバナゲンナイフウロ、ミヤマタンポポ、ヤマルリソウ（エゾムラサキ？）、ミゾイチゴ

ツナギ?、オオズミ、ハルニレ、ミヤマヌカボ、ヤマハハコ、イワニガナ、ドロノキ、ミツバベンケイ(ヨツバ)、イチゴツナギ、ナツユキソウ、ミヤマキケマン、タニセリモドキ。

徳沢で昼食す。オオバイラクサ、テングクワガタ、ツボスミレ、タニセリモドキ、(エゾムラサキ)、タニタデ、コマガタケスグリ、シロバナニガナ、アキニレ、ハクサンハタザオ、ボタンヅル、クサボタン、クルマバナ、イワハタザオ、タカネザクラ、ウラジロアザミ、ミヤマハタザオ、ミミナグサ、ハシリドコロ、ショウキラン、ミヤマオドリコソウ、ミゾソバ、ラショウモンカズラ、エンレイソウ、コチャルメルソウ、キレバサンカヨウ、ミヤマメシダ、オオメシダ、メンマ、サンカヨウ、オオバショリマ、オオヤマカタバミ、マムシグサ、クロクモソウ、ツルネコノメソウ、コゴミ、オオバミゾホオズキ、ダケゼリ、ダイモンジソウ、ミヤマワラビ、ウワバミソウ。

◎ヒトツバハンゴンソウ(高倉山にあり。五色温泉の)、メタカラコウ。

徳本峠道以南。カラマツソウ(セイタカ)、ミヤマザクラ、カンボク、ゲンナイフウロ、ホソバトリカブト、オオズミ、コケモモ、ヒメスゲ、カワズスゲ?(クロ?)、ミネカエデ(峠道)。

信州のさくら(目録一省略)。

(VI) 大正 14 年 7 月 20 日より 木曾御岳植物分布調査

① 1 合目まで。シロダモ、コバノトネリコ、キイチゴ、フクオウソウ、ノブキ、クガイソウ、ヤマツツジ、トラノオ、ダンコウバイ、フジ、ウリカエデ、チョウジザクラ(メジロザクラ)、イヌワラビ、イワガネゼンマイ、ヤシャゼンマイ、トコロ、コアジサイ、ヤマアザミ、フキ、ギョウジャノミズ、ギボウシ、アケビ、チャンパギク、カンボク、ヨモギ、ノイバラ、コリンゴ(ズミ)、ヌルデ、ノアザミ、マルバサンキライ、アキノキリンソウ、バイカウツギ、コバノガマズミ、ナツハゼ、イチヤクソウ、シシガシラ、バイカツツジ、ヤマヌカボシソウ、ナルコユリ、ヘビノネゴザ、コンギク、ヨメナ、ヒカゲノカズラ、マツムシソウ、シロバナニガナ、ニガナ、アオスゲ、ヒメスゲ、ウツボグサ、ウチワドコロ、ボタンヅル、ミツバカエデ、ウド、トモエソウ、バライチゴ、アカソ、アカネ、アキノウナギツカミ、カラハナソウ、ヤマノイモ、アオツヅラフジ、サワヒヨドリ、ヤクシソウ、ミツモトソウ、ツユクサ、

ススキ、ヤマハタザオ、ヤマニガナ、ゲンノショウコ、コアジサイ、タチツボスミレ、ヒカゲスミレ、キンミズヒキ、オトコエシ、カナムグラ、ヤマモミジ、キフジ、イヌザンショウ、マユミ、リョウブ、コナラ、サンカクヅル、ササスゲ、メギ、ムラサキシキブ、オトコヨウゾメ、ダケカンバ、ヤマウルシ、イボタノキ、センノキ、ネジキ、ミヤマガマズミ、ヤマオダマキ、ミズ、シナノキ、ミゾソバ、カンボク、ヤマニンジン、ミツバゼリ、ダケゼリ、チダケサシ、ウマノミツバ、キバナヤマオダマキ、ハシバミ、ヌスビトハギ、コブナグサ、イヌゴマ、ショリマ、クロウメモドキ、カラマツソウ、トダシバ、ヤマグワ、クサボタン、ツルウメモドキ、クズ、ホタルブクロ、クヌギ、リュウノウギク、コナラ、ミツバアケビ、コバノガマズミ、トリアシショウマ、ミヤマナルコユリ、クサボケ、ワラビ、マンサク、ニシキギ、タラノキ、クリ、イタヤメイゲツ、クマイチゴ、タマアジサイ、サワシバ、サワアジサイの var.、ミヤマクマワラビ、ノリノキ、オオバセンキュウ、マツブサ、ミヤコザサ、クサギ、ハナйкаダ、ヒヨドリバナ、トボシガラ、シケシダ、キンボウゲ、キツネノボタン、ホソバイタヤ、クモキリソウ、カタバミ、サワスゲ、ミミナグサ、ツメクサ、オトギリソウ。

② 1 合目より 2 合目まで。オオバアサガラ、マタタビ、ミズキ、ヤマグワ、ミズナラ、クマワラビ、ヤマモミジ、ハナйкаダ、ダンコウバイ、ギボウシ、ヤマブドウ、コブシ、コクワ、サイカチバラ、クマヤナギ、キイチゴ、ウリカエデ、コアジサイ、ヒトリシズカ、オニツツジ、ミツバツツジ、ミズナラ、スズタケ(毛あり)、ヤマナシ、ミツモトソウ、アカシデ、イヌシデ(毛あり)、クマシデ。

中食す。クワ、ダンコウバイ、クマヤナギ、ヘビノネゴザ、サワフタギ、カンボク、ツノハシバミ、ミヤマザクラ、マルバカエデ、トチノキ、オオイタヤメイゲツ、オニグルミ、イタヤ、イタドリ、ツルニンジン、クマシデ、サワラ、ヤマハンノキ、コマユミ、ミヤマクマワラビ、コシアブラ、ガガイモ、ウワミズザクラ、バッコヤナギ、ヒオウギ、キツリフネ、ナワシロイチゴ、アカネ、ツリガネニンジン、マユミ、フタリシズカ、メギ、サワシバ、ガマズミ、オニウコギ、ヒカゲスミレ、チョウジザクラ、ニシキギ、ウバユリ、ヤマスズメノヒエ、ヤブデマリ、イヌガンソク、アブラガヤ、ナガバヤナギ、キハダ、ハンゴンソウ、ネコヤナギ、ヘビノダイハチ、ヤマハンノキ、ハウチワカエデ、ツリバナ、バイカツツジ、コバノトネリコ、テツカエデ、ノアザミ、イヌ

コリヤナギ、シオデ、マルバノチョウリョウソウ、タチシオデ、タニスゲ、コウゾリナ、ゲンノショウコ、ヤマハハコ。

③ 2合目より3合目まで。ギボウシ、ソヨゴ、クマシデ、ウワミズザクラ、ヤブマメ、ヤマボクチ、キンミズヒキ、ヌズビトハギ、トリアシ、ニガナ、フサザクラ、ギョウジャノミズ、キフジ、ムラサキシキブ、アカソ、ゲンノショウコ、キンミズヒキ、ハシバミ、ヤマブドウ、チヂミザサ、ケヤマザクラ、クガイソウ、ザリコミ、オオバノヤエムグラ、クマワラビ(褐色)、ミズヒキ、イトスゲ、ニワトコ、タニタデ、ノブキ、カツラ、ミヤマイラクサ、ウリノキ、ハスノハイチゴ、ジュウモンジシダ、ナガジラミ、ヤブマオウ、ミヤマタニタデ、ミズ、キヨタキシダ、ミヤマムグラ、ツルネコノメ、イワガラミ、リョウメンシダ、フジシダ、ヤグルマソウ、クマワラビ、センジュガンピ、サワギク、フユイチゴ、サワグルミ、クルマムグラ。

清滝道。キヨタキシダ、ミヤマイラクサ、ハスノハイチゴ、メンマ、ウリノキ、ヤグルマソウ、ニワトコ、キイチゴ、ヤマシバカエデ、サワダツ、クロモジ、イトスゲ、モミジハグマ、ヤマコウバシ、イヌシデ、トチノキ、ツリフネソウ、ヒキオコシ、xアカバナ、タチツボスミレ、ダイヤモンドソウ、イワセントウソウ、ソバナ、モミジガサ、ザリコミ、イワデンダ、フクロシダ、ミヤマムグラ、イワガリヤス。

本道。ダイヤモンドソウ、タマガワホトトギス、ミヤマキケマン、ヤマボクチ、マツムシソウ。

(2合半)変遷堂に至る。ヤシャブシ、シロバナニガナ、ヤマハンノキ、トラノオ、ノアザミ、オオバヤナギ、サンショウ、オオノアザミ、ヤマオダマキ、ヘビノネゴザ、クガイソウ、ウド、ハギ、ハンゴンソウ、マルバノチョウリョウソウ、ウマノミツバ、イタヤメイゲツ、コリンゴ、ゴマナ、ヤマヌカボ?、アケボノソウ?、アマドコロ、クリ、ゼンマイ、クサソテツ、ヤナギラン、イタヤ、シラカンバ。

△2合目より4合目にかけて大草原帯なり。タカラコウ。

△水の流れの終わり。オオバコ、イタドリ、アカソ、キンミズヒキ、シナノキ、ヤマヌカボ、フキ、ススキ、ササユリ、シロバナササユリ、チシマザサ、クサボタン、イ、ツタ、ヤマブドウ、ヒメアザミ、ヨモギ、ノリノキ、ミズナラ、アキノウナギツカミ、ウツボグサ、シロバナヘビイチゴ、キツリフネ、ヤマハンノキ、ミミナグサ、ミヤマザサ、ホガエリガヤ、ヘビノネゴザ、イタヤカエデ、ニガナ、マタタビ、コ

ナスビ、オオバヤナギ、タチツボスミレ、ハギ、アカソ、ヤマナシ、ヒロハノツリバナ、ハシバミ、トリアシ、フクジュソウ、ツルニンジン、アキノキリンソウ、ツノハシバミ。

水場にかかる。ワレモコウ、ワラビ、ヨツバヒヨドリ、マツムシソウ、オトコヨモギ、ヒメスゲ、ハンゴンソウ、ニガイチゴ、シロヤマギク、イヌコリヤナギ。

④之より3合目。ヒメスゲ、ワラビ、オトコヨモギ、レンゲツツジ、トラノオ、マイヅルソウ、コウゾリナ、タカアザミ?、ウラジロアザミ、ヤマアワ、xノガリヤス。

3合半(八海山)に達す。ヒメイズイ、ノガリヤス、ムラサキノガリヤス?、トリアシショウマ、ノギラン、ショウジョウバカマ、レンゲツツジ、クガイソウ、コギボウシ、ミツバヒヨドリ、オタカラコウ、オオヤマフスマ、ダケモミ、ヤワランシダ、モミ、シロバナニガナ、ヤマスズメノヒエ、チシマザサ、ヌカボシソウ、イワツツジ、ゴゼンタチバナ、ツマトリソウ、コケモモ、ヒメイチゲ、マンネンズギ、マイヅルソウ、クロマメノキ、ヤハズハンノキ。

針葉樹帯に入る。コイチヤクソウ、ヒメイチゲ、クワガタソウ、ミヤマカタバミ、マイヅルソウ、タケシマラン、ツルリンドウ、ツマトリソウ、キソチドリ、イ、オオバノヨツバムグラ、ヤマヌカボ、イワツツジ、コキンバイ、ヌカボシソウ、カニコウモリ、ナナカマド、コシアブラ、スノキ、カラマツ、スズタケ、チョウセンゴヨウ、ヒメスゲ、サワグルミ、シノブカグマ、シラネアザミ、ヒロハツリバナ、タカネザクラ、オオカメノキ、コウウラクツツジ、オガラバナ、ツルアジサイ、ミヤマワラビ、シナノキイチゴ、ヤマオダマキ、ニワトコ、ミヤママタタビ、タネツケバナ、キンボウゲ、ミヤマノキシノブ。

⑤4合目に達す(この辺ササ原)。クワガタソウ、ツルツゲ、コメツガの林、コバノイチヤクソウ、シラネワラビ、ホガエリガヤ、タニギキョウ、ミヤマシシガシラ、ズダヤクシュ、ハリスゲ、ミヤマイボタ、ダケカンバ、コミヤマカタバミ、ミヤマカタバミ、オガラバナ、ミヤマオトギリ、ハリスゲ、ミヤマシグレ。

⑥ 5合目に達す(尚、米ツガの森林中)。時に5時なり。ユキザサ、シラベやや多し、この辺シラベ帯。ナナカマド、ネコシデ、アオジクスノキ、ゴゼンタチバナ、サラサドウダン、シロバナサラサドウダン、クロウスゴ、イワカガミ、ヒロハカツラ?、ヒロハツリバナ、オガラバナ、トウヒ少し、テガタ

チドリ、コミネカエデ、セリバシオガマ、ミツバオウレン、ミヤマワラビ、アキノキリンソウ、ウラジロナナカマド。

田ノ原（6合目）に達す。キオン、ミヤマガラシ、オクヤマアザミ、オヤマリンドウ、ミヤマオトギリ、チシマザサ、シラベ、スノキ、ヒロハツリバナ、スズメノカタビラ、エゾホソイ、ミヤマネズ、ネバリノギラン、ツマトリソウ、コキンバイ、コバイケイソウ、クロマメノキ、キンスゲ、チングルマ、ミヤマカワズスゲ、モウセンゴケ、ヤチスゲ、ミタケスゲ、コバイケイ、ハイマツ、クロユリ、コトンボソウ、シラベの矮林。キバナシャクナゲ、ガンコウラン、ヨツバシオガマ、チシマニンジン、コケモモ、イワヒゲ、ツガザクラ、コヨウラクツツジ、イワアカバナ、カニコウモリ、ヨブスマソウ？。

7月1日。田ノ原小屋発（6合）。オオバショリマ、エゾホソイ、クロウスゴ、コイワカガミ、スノキ、チシマザサ、コメツガ、シラベ、ミヤマハンノキ、モミジカラマツ、ミヤマメシダ、ナナカマド、ミヤマコウゾリナ、オヤマリンドウ、ツルツゲ、ミツバオウレン、マイヅルソウ、ダケカンバ、セリバシオガマ。

△原終わる。この辺までシラベの矮樹帯。シラベ、ゴゼンタチバナ、ウラジロナナカマド、ミヤマヤナギ、モミジカラマツ、スノキ、クロウスゴ、ヒメスゲ、セリバシオガマ、ミヤマオトギリ、コバイケイソウ、ヒメタケシマラン、アキノキリンソウ、チシマザサ（多し）、ツマトリソウ、ゴゼンタチバナ、ホソバノキ？、コヨウラクツツジ、オオヒョウタンボク、セリバシオガマ、コイワカガミ。

△ハイマツはシラベ林中に交じり居たり。ミヤマワラビ、ハリブキ、ユキザサ、ヨブスマソウ、ミヤマメシダ、ダケカンバ、オクヤマアザミ、ヤマブキショウマ、フタバラン、オヤマリンドウ。

◎7合目に至る（灌木帯に入る）。シラベ、ダケカンバ、ハイマツ、ミヤマナナカマド等混生する。生存競争の状態にあり。アオジクスノキ、クロツリバナ、ミヤマハンノキ、キオン、ツガザクラ、ツルツゲ、ハイマツ。

△山は植物分布上…幼年期の□り位。

△この辺、寒地帯林（森林限界線なり）。残雪あり。コイワカガミ、ヨモギ（ミヤマヨモギ）、ミヤマハンノキ、タカネザクラ、オオヒョウタンボク、クロツリバナ、キオン、シラタマノキ、クモマスズメノヒエ、イワギキョウ、ヒメスゲ、コバイケイ。

△わらじ交換に備える。コイワカガミ、コケモモ、

シラタマノキ、オクヤマモミジ、ハイマツ、イワギキョウ、イワノガリヤス、シラタマノキ、ウシノケグサ、コメススキ。

◎8合目に至る。7合目半ばより上はハイマツ帯。7合より7合半はダケカンバ帯。キオン、コケモモ、ガンコウラン、コメススキ、アキノキリンソウ、オンタデ、オクヤマアザミ、クモマスズメノヒエ、タカネナナカマド、ミヤマハンノキ、ミヤマオトギリ、コバイケイ、ミヤマコウゾリナ、ウラジロナナカマド、ヒメクワガタ。

◎9合目に至る。イワギキョウ、ガンコウラン、ハイマツ、コイワカガミ、ミヤマハンノキ、ミヤマダイコンソウ、オオバショリマ、オオヒョウタンボク。

△8合目より10合目まで谷に沿って残雪あり。雪渓をなす。先の西側に矮小灌木林の列（縦列）をなす。ミヤマハンノキ、ウラジロナナカマド、オオヒョウタンボク、タカネナナカマド帯よりなる。イトキンスゲ、コバイケイソウ、ミヤマゼンゴ、イワオトギリ、ガンコウラン、クロウスゴ。

大観谷火口頂。イワベンケイ、ミヤマダイコンソウ、コケモモ、イワヒゲ、イワウメ、コメバツガザクラ、イワギキョウ、イワスゲ、トウヤクリンドウ、ツガザクラ、ミヤマハンノキ、ハイマツ、アオノツガザクラ、ミヤマタネツケバナ、イワツメクサ、オンタデ、クロクモソウ、ミヤマヌカボシソウ。

⑩10合目の小屋着（王滝口）。

△日ノ門、月ノ門に向かう。寒地岩野なり。アオノツガザクラ、コイワカガミ、ミネズオウ、イワスゲ、アキノキリンソウ、チングルマ、コメバツガザクラ、クロマメノキ、ミヤマオトギリ、オンタデ、イワツメクサ。

△日ノ門に至る。シラタマノキ、ハイマツ、イワウメ、ミヤマハンノキ、イワスゲ。

△地獄谷小□□□火口。

△月ノ門に至る。ミヤマゼンゴ、ミヤマタネツケバナ、チズゴケ、アカサビゴケ、シロサビゴケ、ミヤマキゴケ、コバノエイランタイ、ムシゴケ、ナギナタゴケ、タカネゴケ。

△10合目の小屋より絶頂まで（八丁だるみ）。イワヒゲ、イワスゲ、イワウメ、ミヤマタネツケバナ、クロマメノキ。寒地乾原の中の寒地砂漠をなす。

△絶頂に着く（剣ヶ峰）3,069.4 m。イワスゲ、イワウメ、ミヤマタネツケバナ、イワギキョウ。

△36童子岳に登る。オンタデ、ミヤマタネツケバナ、イワスゲ、イワツメクサ、イワウメ、ガンコ

ウラン、イワヒゲ、コメバツガザクラ、ミヤマヌカボシソウ、キバナシャクナゲ、ハイマツ、ミヤマクロスゲ、ミネズオウ。

△下る。アオノツガザクラ、コメススキ、コイワカガミ。

△継母岳 (2867)。山は乾大原してP. 少なく頂上までハイマツ、コイワカガミ、キバナシャクナゲ、ハナゴケ、ミヤマクロスゲ、クロマメノキ、コバノエイランタイ、ハイマツゴケ、コケモモ、ガンコウラン、ミネズオウ、イワスゲ。

上がる (36 童子岳) 雷鳥を3羽見る。

△一の池。オンタデ、ミヤマクロスゲ、アオノツガザクラ、ジムカデ、ミネズオウ、ガンコウラン、コメバツガザクラ、クロマメノキ。

△二の池。コメバツガザクラ、コケモモ、ガンコウラン、ジムカデ、アオノツガザクラ、ミネズオウ、クロマメノキ、ミヤマクロスゲ、ミヤマダイコンソウ、オンタデ、チングルマ、イワギキョウ、イワウメ、ミヤマタネツケバナ、ミヤマゼンゴ。

△マリシ天 (註：摩利支天岳) 下の原。ミヤマキンバイ、オンタデ、キバナシャクナゲ、チングルマ、コケモモ、イワツメクサ、クロマメノキ、ジムカデ、ガンコウラン、ミヤマダイコンソウ、ミヤマハンノキ、イワウメ。

△小池の畔 (火口?)。オの河原。ミヤマゼンゴ、チシマニンジン、ミヤマダイコンソウ、コケモモ、オンタデ、ミネズオウ、アオノツガザクラ、ガンコウラン、アキノキリンソウ、コイワカガミ、ヨツバシオガマ、チングルマ、コバイケイソウ (池畔にあり)、チシマギキョウ。

△摩利支天岳。コケモモ、ガンコウラン、アオノツガザクラ、ミヤマダイコンソウ、ミヤマキンバイ、コバノエイランタイ、ミヤマツメクサ、ミヤマクロスゲ、ハクサンイチゲ、コメバツガザクラ、チシマギキョウ、ミヤマダイコンソウ、クロマメノキ、イワツメクサ、コイワカガミ、キバナシャクナゲ、チングルマ、ウラジロナナカマド、ミヤマタネツケバナ、イワスゲ、ミヤマキンバイ。

△本火山は若くして植物少なくとも言えども、渡来要素多く且つ□□該要素侵入の際、其の先驅をなせるものなるべし。

1. 本山は分布系統の末端なる□□近くに察する様に植物少なき？。

2. 他山の如く□□□□が噴火事変の為に□□絶滅せしものか。□□然らば現在の植物に第二次分布不明なるが、之等は□□再侵入分布せしもの？。

3. 乗鞍岳と比較して少なきは何故か。

7月22日。摩利支天岳頂。ミヤマダイコンソウ、コメバツガザクラ、コケモモ、イワスゲ、ミヤマキンバイ、ガンコウラン、キバナシャクナゲ、ミヤマコメススキ、イワツメクサ、クロマメノキ、アオノツガザクラ、ミネズオウ、イワヒゲ、チシマギキョウ、ミヤマヌカボシソウ、オンタデ、クモマグサ。(山岳スケッチ2p. 省略)。

五ノ池。ミヤマタネツケバナ、コイワカガミ、ガンコウラン、アオノツガザクラ、オンタデ、コケモモ、クロマメノキ、ハクサンイチゲ、キバナシャクナゲ、イワヒゲ、ミヤマダイコンソウ、ミヤマハンノキ、タカネナナカマド、ハイマツ、コメバツガザクラ、イワウメ、ミネズオウ、ミヤマハンノキ、ツガザクラ、イワギキョウ、ヨツバシオガマ、ミヤマコウゾリナ、チシマギキョウ、ミヤマゼンゴ、クモマグサ。雷鳥出ず。

△継子岳。ミヤマタネツケバナ、キバナシャクナゲ、イワスゲ、ミヤマキンバイ、ミヤマダイコンソウ、コイワカガミ、トウヤクリンドウ、コマクサ、コメバツガザクラ、ウスギシャクナゲ、ハクサンイチゲ、コバイケイソウ、ミヤマハンノキ、タカネヨモギ。

△上る。オヤマリンドウ、ミツバオウレン、オンタデ、ミヤマオトギリ、ヨツバシオガマ、イブキボウフウ、クロウスゴ、アオバナハクサンイチゲ。

高天ヶ原 (継子岳の)。キバナシャクナゲ、コケモモ、ガンコウラン、ハイマツ、ミヤマコウゾリナ、アオノツガザクラ、ミネズオウ、イワウメ、イワツメクサ、シラタマノキ、イワギキョウ、イワヒゲ、ミヤマキゴケ、ミヤマタネツケバナ、クロマメノキ、イワスゲ、コメススキ。

継子岳頂上。ミヤマダイコンソウ、コケモモ、ガンコウラン、コメバツガザクラ、ハイマツ、トウヤクリンドウ、コイワカガミ、イワウメ、イワヒゲ、イワスゲ、シラタマノキ、クロマメノキ、ミヤマキンバイ、クロウスゴ、ミネズオウ。

△下る。(四ノ池火口に)。アキノキリンソウ、ツガザクラ、クモマスズメノヒエ、トウヤクリンドウ、イワヒゲ、イワスゲ、ウスギシャクナゲ。

△四ノ池。ウラジロナナカマド、コバイケイソウ、オオバタケシマラン、モミジカラマツ、イブキゼリ、オオヒョウタンボク、ハイマツ、ミヤマキンバイ、クロユリ、コケモモ、アキノキリンソウ、ハクサンイチゲ、コイワカガミ、アオノツガザクラ、キバナシャクナゲ、ミヤマヤナギ、ミヤマダイコンソウ、

ミズゴケ、オヤマリンドウ、チングルマ、ミヤマタネツケバナ、ヨツバシオガマ、ネバリノギラン、イワツメクサ、ヤチスゲ、エゾホソイ。

湿地には、クロマメノキ、ミヤマイ、ミズゴケ、チングルマ、ミネズオウ、クロユリ、ヤチスゲ、コケモモ、ハナゴケ、ガンコウラン。

この辺所々□く、□□凸面沢野あり。オヤマリンドウ、コバノエイランタイ、コバイケイソウ、イワギキョウ、トウヤクリンドウ、オオツガザクラ、ミヤマクロスゲ、コマクサ。

△三ノ池の南を登る。クモマグサ、ウシノケグサ、イワツメクサ、ムシゴケ、チズゴケ、シモフリゴケ、シロバナシャクナゲ。

黒沢口を下る。植物の種類少なし。キバナノコマノツメ、オオヒョウタンボク（花は薄紅色、蕾は紫紅色なり）、ハイマツ帯はよく発達する。ダケカンバの発達は特に著しく長く連続せり。中にハイマツ（小団林）交ゆ。

△林中にミヤマザサ？、モミジカラマツ、スノキ、クロウズゴ、ミヤマワラビ、イワカガミ。

△中にナナカマド、ミヤマハンノキ、ウラジロナナカマド、特にシラベを交じる。タカネザクラ。

△シロバナヤマトキソウ（八方山のものと同一）御岳の黒沢口の原にあり。

VII 西駒ヶ岳採集。7月26日より。

△ヒメサラサドウダン（内の萱より上り、針葉樹帯中にあり）。

△ウスバスマレ（針葉樹帯よりハイマツ帯に交ぜり。伊那小屋付近より岳樺帯にもあり）。

△イチヨウラン、カモメラン、エゾノショウジョウバカマ。

①上松町より東小川（一合目）。ヘビノネゴザ、ヤクシソウ、ヤマニガナ、ニガイチゴ、ヤマカモジグサ、xツツジ？、イヌワラビ、ヤマノイモ、カモジグサ、ウメガサソウ、フジ、ネザサ、アブラチャン、ノブドウ、アケビ、エゴノキ、ツガ、クズ、マユミ、ヤマナルコ、エノキ、ガマズミ、クリ、クヌギ、コナラ、オオバヤナギ、ヨシ、ヨモギ、ハルガヤ、コウガイゼキショウ、タムラソウ、チダケサシ、アキノウナギヅカミ、ヤマイ、ゴウソ、ハリイ、ドクダミ、ノブキ、ノアザミ、ヤマアザミ、ウチワドコロ、アカソ、ダイコンソウ、ミミナグサ、ツリガネニンジン、コンギク、ウツギ、イヌザンショウ、フジ、ヤマブキ、ヒメジョオン、ホタルブクロ、ヨツバム

グラ、ヤブマメ、ミズギボウシ、イヌタデ、アカソ、ノイバラ、トラノオ、クララ、ショリマ、マンサク、ベニマンサク、タツノヒゲ、シシウド、オオカモメヅル、ネジバナ、イタドリ、オトコエシ、ササスゲ、ツリフネソウ、ノダケ、チャンパギク、ヤマシロギク、ノギラン、ヤシャブシ、コミツバツツジ、コアジサイ、ホツツジ、イソノキ、クリ、ママコナ、ウワミズザクラ、ソヨゴ、キンミズヒキ、フイリフモトスミレ、ミヤマノキシノブ、トリアシショウマ、ウリカエデ、モミジハグマ、ヤマジノホトトギス、トコロ、（小葉）リンドウ、ニガナ、イヌヨモギ、アキノキリンソウ、フクオウソウ、カラマツソウ、ミヤマナルコユリ、ミツバツチグリ、クマヤナギ、ヌカボ、ミツバゼリ、ノコギリソウ、ヤマハハコ、シオデ、ハエドクソウ、バイカツツジ、イボタノキ、ウツボグサ、ムラサキシキブ、キフジ、ケヤマザクラ、キイチゴ、オオバセンキュウ、アカシデ、ハシバミ、イヌガンソク、マルバサンキライ、ヒメコマツ、ツガ、ヤワラシダ、コケオトギリ、アリノトウグサ、アカマツ、キハギ、イヌブナ、ミズナラ。

△小山□にかかる。コナラ、カシワ、カヤ、ナガスミレ。

△石室あり。ネズミサシ、ネムノキ、イタヤメイゲツ、トダシバ、ミヤマザサ、アワブキ、サワフタギ、ヒノキ、アイバソウ、シラスゲ、イ。

②徳原に至る（湯川）二合目初まり。シラスゲ、イヌツゲ、ヤマウコギ、クサボタン、イヌガラシ、ジシバリ、ツユクサ、アカザ、スギナ、コウゾリナ、ギシギシ、カモジグサ、ワレモコウ、コマツナギ、ウツギ、モミ、アケボノスミレ、イチヤクソウ、シナノスミレ、エイザンスミレ、アカネスミレ、ヤマオダマキ、ウマノミツバ、キンボウゲ、フタリシズカ、コナスビ、サイカチバラ、ミヤマガマズミ、アキノウナギヅカミ、バイカウツギ、ツルウメモドキ、ガマズミ、ウチワドコロ、クサボケ、ミツモトソウ、ヒオウギ、クマイチゴ、トモエソウ、ヌルデ、ツルウメモドキ、ヤマグワ、ヤブガラシ、センボンヤリ、ヤナマラシ、メドハギ、ミズギボウシ、シラカンバ、イボタノキ、ケスミレ、カタバミ、チョウジザクラ、ナワシロイチゴ、アオイスマレ、メドハギ、ヤハズソウ、アカネ、イタドリ、タチツボスミレ、メギ、キバナヤマオダマキ、シモツケ、ホソバイタヤ、イタヤ、サルマメ、フモトスミレ、ウリハダカエデ、アサダ、カツラ、ホソバオトギリ。

△赤松林を過ぎる。ヒカゲノカズラ、マイヅルソウ、ツリガネニンジン、マンネンスギ、トクサ。

△二合目より。ネコヤナギ、アカネ、フシグロセンノウ、コクワ、ボタンヅル、ヘビノダイハチ、サンカクヅル、ツリバナ、ヤマブドウ、ヒメムカシヨモギ、オオバノヤエムグラ、ハクサンサイコ、ハンゴンソウ、ミヤマザクラ、クルマバナ、センノキ、アキグミ、ニシキギ、ハギ、クマシデ、ウリハダカエデ、イタヤメイゲツ、コリンゴ、ミヤマザクラ、ムラサキシキブ。

河(滑川)を渡る。ホッスガヤ、ギボウシ、ウコギ、ザリコミ、クマシデ、サワシバ、ヒヨドリバナ、ハウチワカエデ、スイバ、ホソバヤナギ、キバナヤマオダマキ、トチノキ、タラノキ、ミヤマハタザオ、マタタビ、バライチゴ。

△敬神の滝。キツネノボタン、タチカメバソウ、オオバセンキュウ、ヤグルマソウ、イタドリ、アカソ、ヤマブキショウマ、イヌワラビ、クリンユキフデ、ミヤマシケシダ、クロクモソウ、イワガネゼンマイ、アカソ、フキ、タマアジサイ、クジャクシダ、ノキシノブ、タマガワホトトギス、キヨタキシダ、ケゴンアカバナ、オウレンシダ、フクオウソウ、ミヤマクマワラビ、イチゴツナギ、キツリフネ、ヨブスマソウ、ミヤマカラマツ、ミヤマイラクサ、イワセントウソウ、ミヤマムグラ、サワギク、コケシノブ、ホソバニガナ。

古田小屋に至る。キイチゴ、ミヤマガマズミ、タマアジサイ、ウド、イワガラミ、ヤマツツジ、コシアブラ、リョウブ、ヒカゲノカズラ、ノブキ、コヨウラクツツジ、ソヨゴ、ササユリ、バイカウツギ、クガイソウ、ツルツゲ、コバノトネリコ、ミヤマシキミ、ツガ、キソチドリ、サワダツ、オオカメノキ、チョウジザクラ、ミヤママタタビ、ユキザサ、チゴユリ、フデリンドウ、ミヤマエンレイソウ、ウメガサソウ、タニソバ、アサノハカエデ、ハクウンボク、ヤマブドウ、モミ、ウスバスミレ、ヤマシバカエデ、タニタデ、ミヤマクマワラビ、ハエドクソウ、ジュウモンジシダ。

三合目に至る。ショウキラン、ミヤマムグラ、ネコノメソウ、ミズヒキ、ルイヨウショウマ、クロモジ、ブナ、コミネカエデ、タニギキョウ、ツクバネソウ、メンマ、クルマムグラ、ジンバイソウ、シラベ、シラネワラビ、シノブカゲマ、ツリガネツツジ、カニコウモリ、シナノキ、ヒロハノツリバナ、ミヤマワラビ、ツクバネウツギ、ウワミズザクラ。

四合目着。この辺よりコメツガ林となる。中箕輪小学生□死せし13人中、最後の石室もなりしもの□出ず(大正14.7.26)。

ヒロハツリバナ、ギンリョウソウ、サラサドウダン、ミヤマシグレ、オウレン、ゴカヨウオウレン、ホソバツルツゲ、イワカガミ、コミヤマカタバミ、ダケカンバ、ミヤマカタバミ、シナノキ、コクウ、ミヤマウラジロイチゴ、ハリブキ、ナナカマド、カツラ、ヘビノネゴザ、シロバナシモツケ、ヤハズハンノキ、ミヤマオトギリ、ツバメオモト、シロバナヘビイチゴ、ミヤマカラマツ、クロクモソウ、コウモリソウ、ダイモンジソウ、エビゴケ、コケシノブ、ミヤマウラボシ、ツリガネツツジ、サラサドウダン、オオシャクナゲ、イトイ、アサギシャクナゲ。

五合目の小屋に至る。ミヤマハンノキ、バッコヤナギ、ヒロハヤマハハコ、シロシャクナゲ、ウラベニシャクナゲ、ウド、ノカンゾウ、ヤナギラン、ニガイチゴ、ヤマブキショウマ、ハクサンオミナエシ、オオヤマアザミ?、エゾニワトコ(ヒロハ?)、ミヤマウラボシ、イタドリ、ヤグルマソウ、ミヤマタニソバ、タマガワホトトギス、タケシマラン、クマイチゴ、ダイモンジソウ、タラノキ、スノキ、カブトゴケ、イワセントウソウ、アキノキリンソウ、ネコシデ?、セリバシオガマ、ナナカマド、コメツガの林、トウヒ、ゴゼンタチバナ。

六合目一七合半の小屋。シナノキイチゴ、イワカガミ、シロバナシャクナゲ、ミヤマフタバラン、スノキ(ホソバ)、ミヤマカンボクゴケ、フタバラン、クロベ、ナギナタゴケ、ハナヒリノキ、クロウスゴ、ナガバスノキ。

△七合目。アサギシャクナゲ、コヨウラクツツジ、シラベの林。

八合目。ウラジロナナカマド、タカネナナカマド、コケモモ、ガンコウラン、ミヤマコウゾリナ、キバナノコマノツメ、クロツリバナ、シラネアザミ、エゾシオガマ、オヤマリンドウ、ミヤマホツツジ、ミヤマゼンゴ、ニガナ、ニョホウチドリ、ミヤマチドリ、ネバリノギラン、シラタマノキ、ミヤマオトギリ、エゾノショウジョウバカマ、ハクサンフウロ、オオバショリマ、コイワカガミ、コガネイチゴ、タカネシバスゲ、ハクサンボウフウ、ヨツバシオガマ、クロウスゴ、コバイケイソウ、タケシマラン、イタドリ、ダケカンバ、ネバリノギラン、タカネザクラ、ウスギシャクナゲ。

この辺、岳樺帯。スノキ、クロウスゴ、マイヅルソウ、ゲンナイフウロ、ヒメイチゲ、ヤマハハコ、オクヤマアザミ、ミヤマホツツジ、メタカラコウ、シナノキンバイ、ミヤママタタビ、ヒメタケシマラン、ヤマブキショウマ、ハクサンイチゲ、ミヤマメ

シダ、スノキ、ツメクサ、イワカガミ、ミソガワソウ。

この辺、大お花畑あり。オンタデ、ホザキイチヨウラン、タカラコウ、ミヤマカラマツ、ミヤマダイコンソウ、ミヤマキンポウゲ、クモマスズメノヒエ、ウサギギク、ハリスゲ、クロクモソウ、ダイモンジソウ、オオヒョウタンボク、シロウマスゲ、カラマツソウ、ユキザサ（オオバ）、タカネショウジョウスゲ、ミヤマワラビ、アキノキリンソウ、ゴゼンタチバナ、コケモモ、コヨウラクツツジ、タカネナナカマド、ムカゴトラノオ、シラタマノキ、タケシマラン、ツガザクラ、アオノツガザクラ、チョウカイゼリ、ミヤマハンノキ、カブトゴケ、ウスギシャクナゲ、ハリブキ、ミヤマタネツケバナ、コメススキ、ジョウゴゴケ、ヒメクワガタ。

△この辺よりハイマツ帯。チングルマ、アオノツガザクラ、ハイマツ、イワツメクサ、コケモモ、シラタマノキ、コイワカガミ、アキノキリンソウ、ミヤマゼンゴ、ウラジロナナカマド、クロウスゴ、コガネイチゴ、エゾノショウジョウバカマ、コメススキ、ムカゴトラノオ、オンタデ、コバイケイソウ、オクヤマアザミ、ハクサンボウフウ、ミヤマコウゾリナ、イタドリ（メイゲツソウ）、ミヤマオトギリ、エゾシオガマ、ウサギギク、クモマスズメノヒエ、ヨツバシオガマ、タカネスイバ、ヒメスゲ、イワノガリヤス、キバナシャクナゲ、ウラシマツツジ（クマコケモモ）、ハクサンハタザオ（敬神ノ滝の下にありという）、ミヤマカラマツ、オオツガザクラ、イワヒゲ、ダンナイフウロ。

（続く）